



2012-2013 年度

国際ロータリー会長 / 田中 作次
2690地区ガバナー / 森田 昭一郎

会長 / 黒田 昌弘 副会長 / 飯塚 大幸
幹事 / 釜屋 治男 会計 / 河原 治子

平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1 平田商工会議所2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

例会プログラム

| 例会日 | 卓話者 | 演題 |
|--------|-------------------------|------------|
| 12月13日 | 瀧川産業株式会社 代表取締役社長 瀧川 修 様 | 大学駅伝ができるまで |
| 12月20日 | 議長 黒田昌弘 | 年次総会 |
| 12月27日 | 出雲市長 長岡秀人様 | |

出席報告

| 会員数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席率 | 前回補正出席率 |
|-----|------|--------|---------|---------|
| 38 | 27 | 11 (3) | 77.14 % | - % |

欠席者

持田稔 / 河原 / 石原輝 / 園 / 大谷 / 園山 / 堀江 / 小汀 (山根 / 牧野 / 木村)

来訪者

なし

メークアップ

12/10 遠藤・大島卓・河原 (出雲中央) 12/11 大島卓・遠藤 (出雲)

次回例会受付当番

(12月27日) 原 泰久 / 佐々木哲也 / 園 裕

(1月10日) 加藤喜久 / 園山 繁 / 杉原朋之

近隣クラブ例会情報 (メークアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

| 月 | 出雲中央 | 松江 |
|---|--------------------|----------------------|
| | 12/31(休) 2/25(休) | 12/17 12/24(休) 30(休) |
| 火 | 出雲 12/25(休) 1/1(休) | 松江しんじ湖 12/18 12/25 |
| 水 | 大社 12/26(休) | 松江 12/19 12/26 |
| 木 | | 松江東 12/20 12/27(休) |
| 金 | 出雲南 | |

会長挨拶

来間屋の生姜糖

先週は、歳末助け合い運動を兼ねた忘年会が盛大に開催されました。近年になく、ご夫人の参加が多く、本当に賑やかな楽しい忘年会でした。出席親睦委員長ほか委員の皆様のご努力には感謝申し上げます。歳末助け合い運動では、神仏合同の行事となりましたが、これは平田ロータリーが始めて以来のことと思います。なかでも桐原会員の奥様には法衣を着ていただき (この法衣は管長が修行で着ていたものだそうです) 委員会活動にご協力頂き、感謝申し上げます。お蔭様で、沢山の浄財が集まりました。後で、有意義に活用させていただきます。

さて、本日は「来間屋生姜糖」についてお話いたします。11月のある日、食事をするためある喫茶店に寄ったところ、ふと、単行本で「美味しんぼ」という有名な食の文化を内容に盛り込んだマンガの109巻の中に、木綿街道も併せて、来間生姜糖のことが掲載されていました。生姜糖の製造工程、その苦勞の中身、過去の歴史などが描かれていました。マンガの中の来間屋生姜糖の若主人は、会員である来間会員には全然似ておらず、少し太り気味に描かれていますが、実在の本人の方がずっと男前です。まだお読みになられていない会員の皆様は是非一度このマンガを読んでみてください。

これは個人的なことになりますが、この生姜糖は、亡き母が施設に帰るときに、必ず持って帰っていたことを思い出します。

幹事報告

1. IM (Intercity Meeting)のご案内

日時 平成25年2月24日(日) 13:00 ~ 18:00

受付 12:30 ~ 13:00

会場 大社文化プレイス うらら館

登録料 7,000 円

(特に入会5年未満の方は是非ご参加ください)

懇親会 16:30 ~ 18:00 会場 島根ワイナリー

2. (社)平田成年会議所 理事長 原 仁志様、45周年実行委員長 神田慎一様より記念誌をいただきました。

3. 平田CATV 地区大会ダイジェスト版放映日程のお知らせ

12/15(土) 22:00 ~

12/16(日) 10:00 ~ ・ 16:00 ~ ・ 22:00 ~

12/17(月) 10:00 ~ ・ 16:00 ~ **是非、ご視聴ください。**

新入会員候補者の紹介

三好洋平様 S53.9.16生

ヒラタ工業株式会社 常務取締役 工場長

クラブ細則第13条第5節により 意義のある方は本日より7日以内に書面をもってお申し出下さい。

理事会決定事項

木村文彦会員より出席規定免除申請がされ、クラブ定款第9条第3節(a)により承認致しました。

委員会報告

クラブ広報委員会 : ロータリーの友 12月号の紹介

スマイル

瀧川様 (本日はスピーカーとしてお招き頂きありがとうございます。)

黒田会長、釜屋幹事さんのご活躍をお祈り致します。)

黒田 (修社長、スピーチありがとうございます。平田クラブへようこそいらっやいました。)

加藤昇 (瀧川様 JC 以来 30 数年に亘り御指導を仰ぎ、ご高配を賜り感謝申し上げます。ますますご壮健で活躍されます様お祈り申し上げます。)

遠藤 (瀧川社長の本日のスピーチを楽しみに。色々とお世話になり、元気な姿を見て安心したいです。)

内田 (瀧川様、本日はスピーチありがとうございます。)

恒松 (瀧川様、ようこそいらっやいました。)

釜屋 (ゆらりでの忘年例会、多数の参加感謝いたします。)

原泰 (忘年会、会員の皆様のご協力ありがとうございました。)

大島卓 (先週は盛大な忘年会でした。多分、経費も相当かかったことでしょう。)

高砂 (新発売のしょうが醤油です。瀧川様ようこそ。)

田中久 (高砂会員からのしょうが醤油、今夜早速 豚のしょうが焼きで風味したいと思います。ありがとうございます。この味は高砂会員夫人の涙ぐましいほどの協力があつたからこそできたそうです。)

スピーチ・例会行事

「大学駅伝ができるまで」

瀧川産業(株) 代表取締役社長 瀧川 修 様



出雲駅伝の構想は、私の知人である岩国哲人氏が平成元年の出雲市長選挙に出馬するにあたり、地元で駅伝大会の誘致を目指したいとの考えを表明したことに始まります。これを受けて、私が交渉役を引き受けることになり、同年秋の開催を目途に、限られた期日の中、関係機関との協議を始めました。当時大学生の競技大会が限られていたことから、大学駅伝を開催することについて日本学生陸上競技連合との合意に至りました。

スポンサーおよび放送を担当するテレビ局との交渉は、出雲市長に当選した岩国哲人氏が一手に引き受けるという約束でしたが、当初検討されていたテレビ局は同社の編成会議までに時間がないため困難となり、開催が危ぶまれる事態になってしまいました。

すでに日本学生陸上競技連合と開催を合意しており、中止できる状況にはなく、急遽、義弟とともにフジテレビ・富士通にお願いに出向き、紆余曲折を経ながらも、何とか神在月となる10月10日の開催にこぎ着けることができました。

しかし当時、日本陸連と警察庁の間で、国道を利用する新たな競技会は開催しないとの協定が結ばれていたため、「駅伝」としての開催は断念せざるを得ず、「出雲くにびき大学招待クロスカントリーレース」との名称で、襷を使用せずに次走者にタッチするルールで行うことになりました。2年目からは名称を「出雲くにびき全日本大学招待ロードリレー」に変え、襷をつなぐ形で行われました。その後さらに、現在の「出雲全日本大学選抜駅伝競走」に名称を変更しています。

たくさんの方との出会いの中で誕生した「出雲大学駅伝」ですが、現在では「全日本大学駅伝」・「箱根駅伝」とともに、大学三大駅伝のひとつに位置づけられています。

来年の第25回大会は、記念大会として出場校を増やし、盛大に開催する予定です。